

平成26年度（第12期）事業報告書
 （平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

特定非営利活動法人がっせん介護研究会

1. 総括

私たちは、利用者と共に12年間成長してきました。若年性認知症、パーソンセンタードケア、様々な個別ケア技術を習得し専門介護施設であるべく努力してまいりました。昨年詳しくご報告致しましたが、利用者の定着率は高く、結果として要介護度5の利用者が41%占めるに至りました。在宅介護の究極と言われるターミナル介護を担当医と共に数例実施し、家族の方々から多くの感謝を頂いております。更に、後ほどご報告致しますが、東広島史と一体となった介護予防にも取り組んでいます。

(1) 事業概要

(a) 介護体制

介護度が上がるとショートステイの利用、或いは突然の病気等で不安定な利用となります。12名定員を安定的に確保する事は難しなりますが、個別ケア・パーソンセンタードケアの徹底で、利用者10名でもスタッフは4名から5名、利用者12名体制となると5名から6名を確保しています。

管理者（兼介護）	1名
看護婦	3名
介護福祉士	4名
調理	2名
事務	2名
送迎	2名
清掃・庭管理	4名
合計	18名

(2) 吉川げんき塾

がっせん介護研究会は、東広島市吉川にあります。様々な取組に積極的に取り組んでいます。平成26年度から東広島市と一体となって「元気塾」に取組ました。

吉川げんき塾への関わり

わたしたちは、NPO 法人立ち上げの趣旨である「おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、弟、妹、みんなが夢を持って微笑

みながら暮らせる家庭、社会を築きます」を踏まえ、地域の高齢者支援活動として、①介護予防、②認知症予防、の体現化の営みを続けています。

このための提言として、将来を見据えた在宅介護を模索し、「地域の高齢者の方々が集い、認知症予防に取り組む場」の実現を図るため、機会あるごとに行政の協力も求めてきました。

昨年7月、東広島市福祉部高齢者支援課から、「厚生労働省が進める『地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業』の趣旨が、がってんからの提言を实践するきっかけとなりうる。ついては、事業の核となって、モデル事業を吉川地域で立ち上げることに協力願いたい。」との提案がありました。

この提案を受けて、地域住民が対象となることから、地域の協力は不可欠であり、「地域が進めるモデル事業」の視点が重要と判断し、住民自治協議会と連携することとしました。

モデル事業が終了する平成27年度4月以降は、住民の手で独立して継続することを念頭に、この取り組みの為に設置した「吉川げんき塾準備・推進委員会」（市・地元・当所で構成）の責任者補佐と事務局を担当し、10月開始への取り組みに積極的に関わりました。

その結果、10月9日「吉川げんき塾」と銘打ち、塾生55名、平均年齢72.6歳で開塾することができました。

開塾には、東広島市長が立ち会い、激励のあいさつを行いました。また、地元放送局2社から開塾の様子がテレビ放送されました。

平成27年3月15日迄の間、23回（毎週木曜日：午前10時より同11時30分）実施。1回当たりの平均参加者36名で推移しました。

1回のプログラムは、運動プログラムと脳トレを2グループに分けて両方のプログラムを実施。当所は、各回の脳トレの指導と塾全体の運営に参画しました。

そのほか、笑ヨガ、栄養士による講座と調理実習、歯科衛生士や薬剤師による講座、歌声喫茶もイベントとして挿入し実施しました。

第1回、3ヵ月後、最終回では、体力測定を実施。当所は、長谷川式及び認知症早期兆候観察シートを担当し、参考となるデータ収集を行い、当所の経験を踏まえて参加者へのアドバイス・相談を行いました。

参加者からの感想を参加者アンケートとして収集。結果は、「とても楽しい」「楽しい」が84%、興味もてる内容は、体操、脳トレ、脳年齢測定、体力測定、笑ヨガの順でした。参加した感想としては、自分の脳年齢が理解できた、人と出会えた、認知症などの予防の大切さがわかった、身体を動かすことが楽になった、体調が良くなった等があげられました。

6ヶ月間、当所の参画意義とすれば次の点があります。

- (1)施設としての「デイサービスがってんクラブ」を地域住民に周知できたこと
- (2)介護・認知症の理解が深まり、偏見のない受け入れを進めることができたこと
- (3)地域住民が、高齢化する自身の問題、認知症家族の問題を抱えている現実があり、そのことを理解する中から、設立趣旨体現化への課題として受け止めができたこと。

以上を踏まえ、モデル事業から住民運営に移行する「吉川げんき塾」の平成27年度からの取り組みにも積極的に関わることとしています。

平成27年度の取り組み

厚生労働省のモデル事業から住民運営に移行する「吉川げんき塾」に、引き続き参画し、地域の高齢者支援活動として、①介護予防、②認知症予防、の体現化の営みを続けます。

(a) 2014年4月～2015年3月31日 内部・外部研修

外部研修・講習

2014年

- 1) 6月23・24日 : おむつフitter1級研修A講座(昼田) 京都
- 2) 7月9日 : 魅力ある職場作りノ為の自己点検ツール活用ワークショップ(角谷) 広島
- 3) 7月28・29日 : おむつフitter1級B講座(昼田) 京都
- 4) 7月23日 : 事業者集団研修(角谷) 広島
- 5) 8月25・26日 : おむつフitter1級C講座(昼田) 京都
- 6) 9月29・30日 : おむつフitter1級D講座(昼田) 京都
- 9月16日 : 介護保険利用制度・県リハ家族セミナー&家族会(福永) 西条
- 7) 10月22日 : 認知症予防事業企画者向け研修(福永) 東京

2015年

- 8) 1月30日 : 第2回介護サービス事業者集団指導研修(角谷) 広島
- 9) 3月20日 : 第3回介護サービス事業者集団指導者研修(角谷) 広島

内部研修・講習

毎月第1金曜日、内部研修・講習実施内容(但し11月迄)

以下4項目について毎月確認実施。

- ・安全運転講習会・送迎中の安全運転確認（担当：角谷）
- ・高齢者虐待防止取り組み徹底について・倫理を含む（福永）
- ・ノロウイルスによる感染症予防対策の確認（昼田）
- ・ご利用者さんの前月のケアサービスの見直しと確認（全員）

2014年

- 1) 1月10日 第20回広大心理臨床セミナー（福永）
日本財団より走行マナーについて（福永）
担当者変更について（全員）
- 2) 2月14日 消費税8%に向けての変動ないようについて（角谷）
今後のミーティングの仕方の見直しと変更
- 3) 3月7日 外部研修についての報告（角谷）
- 4) 4月4日 利用者尊厳の保持及びサービスの質確保と向上を目的とした
取り組みの重要性（角谷）
- 5) 5月2日 全ご利用者さんの担当者変更と確認（全員）
御出掛日時の決定（5/23）
- 6) 6月6日 県/市による実地調査結果報告（角谷・福永）
ユマニチュードについて（福永）
- 7) 7月4日 オムツフィッター研修報告会（昼田）
- 8) 8月1日 オムツフィッター研修報告会（昼田）
第1回集団研修報告会（角谷）
- 9) 9月5日 オムツフィッター研修報告会（昼田）
吉川文化祭参加について（角谷）
吉川げんき塾開催報告（角谷）
- 10) 9月13日 がってんクラブのご利用者動向、現状について（角谷）
- 11) 10月3日 ケア内容の見直しと変更、確認（全員）
オムツフィッター研修報告会（昼田）
県リハ家族セミナー&家族会報告（福永）
- 12) 10月10日 消防訓練（東広島市西消防署員指導）
- 13) 11月7日 介護報酬について（角谷）
認知症予防事業報告（福永）

2. 特定非営利活動に係わる事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者範囲及び人数	支出額
通所介護事業	(1) 認知症専門ケア (2) パーソンド・センターケア	H26.4.1 ~ H.27.3.31	介護施設	15名	東広島市及び近郊の要支援又は要介護認定を受けた方 Max 人数 12名/日	¥40,000,000
介護技術研究会・教育訓練	(1) 全国若年性認知症家族会 (2) 地域活動強化	H26.4.1~ H27.3.31	介護施設 事務所	15名 内家族 10名	若年性認知症に専門的に取り組む 家族、介護職、他	¥1,000,000

平成26年度(第12期)特定非営利活動に係わる事業貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 がつてん介護研究会

科 目 ・ 摘 要	金 額		
1. 資産の部			
1.1 流動資産			
現金預金	2,908,314		
売掛金	5,642,492		
前払費用	254,940		
流動資産合計		8,805,746	
1.2 固定資産			
1.2.1. 有形固定資産			
建物附属設備	6,083,178		
構築物	2,765,753		
車両運搬具	59,332		
工具器具備品	11,705		
1.2.2. 無形固定資産			
ソフトウェア	24,080		
固定資産合計		8,944,048	
資産合計			17,749,794
2. 負債の部			
2.1. 流動負債			
短期借入金	300,000		
未払金	420,000		
未払法人税等	71,000		
預り金	150,766		
流動負債合計		941,766	
2.2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			941,766
3. 資本の部			
3.1 資本金	36,000		
3.2 利益剰余金	16,772,028		
資本金合計			16,808,028
4. 正味財産の部			
当期正味財産増加額(減少額)		-2,063,218	
正味財産合計			16,808,028
負債及び正味財産合計			17,749,794

平成26年度(第12期)特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 がつてん介護研究会

科目・摘要	金額	
1. 資産の部		
1.1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	86,513	
銀行預金・郵便振替口座	2,821,801	
未収入金		
売掛金	5,642,492	
立替金・前払金	254,940	
流動資産合計		8,805,746
1.2 固定資産		
1.2.1. 有形固定資産		
建物附属設備	6,083,178	
構築物	2,765,753	
車両運搬具	59,332	
工具器具備品	11,705	
1.2.2. 無形固定資産		
ソフトウェア	24,080	
固定資産合計		8,944,048
資産合計		17,749,794
2. 負債の部		
2.1. 流動負債		
短期借入金	300,000	
未払金	420,000	
未払法人税等	71,000	
預り金	150,766	
流動負債合計		941,766
2.2. 固定負債		
長期借入金		
固定負債合計		
負債合計		941,766
3. 資本の部		
3.1. 資本金		
資本金合計	36,000	36,000
正味財産		16,772,028

平成26年度(第12期)特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 がつてん介護研究会

科目・摘要	金額		
	収支	小計	中計
1. 収入の部			
1. 1. 入会金・会費収入			
入会金			
会費	22,000	22,000	
1. 2. 財産運用収入		469	
1. 3. 事業収入			
研究会事業収入	0		
通所介護サービス収入	39,039,277		
介護スタッフ教育・訓練事業収入	0	39,039,277	
1. 4. 寄付金収入		0	
1. 5. 雑収入		182,050	
当期収入合計(A)		39,243,796	
前期繰越収支差額		18,835,246	
収支合計(B)			58,079,042
2. 支出の部			
2. 1. 事業費			
研究会事業費	0		
通所介護サービス事業費	29,271,824		
介護スタッフ教育・訓練事業費		29,271,824	
2. 2. 管理費			
福利厚生費	241,359		
採用教育費	162,000		
交際費	158,454		
会議費	3,752		
旅費交通費	736,031		
通信費	156,439		
消耗品費	1,697,139		
事務用品費	182,592		
修繕費	631,095		
水道光熱費	796,404		
図書費	37,913		
諸会費	16,500		
支払手数料	102,094		
車両費	936,294		
リース	123,480		
保険料	265,102		
荷造運送費	16,616		
減価償却費	1,177,527		
地代家賃	3,840,000		
租税公課			
法人税等	71,093		
雑費	683,306	12,035,190	
2. 3. 営業外費用			
当期支出合計(C)			41,307,014
当期収支差額(A)-(C)			-2,063,218
次期繰越収支差額(B)-(C)			16,772,028